

田上町

第65号

平成17年10月28日 発行

議会だより



田上中学校運動会

9月定例会	2 P	常任委員会報告	13 P
一般質問	4 P	常任委員会の動き	14 P
請願・意見案	9 P	一部事務組合報告	15 P
決算審査委員会報告	10 P	町民の声・編集後記	16 P

9

月定例会

9月16日～29日

一般会計・特別会計補正可決 平成16年度各会計決算認定



9月定例会 の経過

9月定例会は、9月16日から29日の14日間開かれた。初日が一般質問、ついで議案の上げが行なわれ、決算審査特別委員会が設置された。

第2日目から、各常任委員会で付託案件の審査が行なわれた。その後、3日間の決算審査特別委員会が行なわれた。

最終日は委員長報告がなされ、各議案の採決が行なわれた。

委員会に付託された。
また、請願3件も常任委員会に付託された。

人事案件

教育委員会委員

小松成巳氏が任期満了により退任。田巻藤一郎氏の再任、諸橋雅子氏の選任に同意した。固定資産評価審査委員会委員早津紳也氏が再任された。

初日本会議

会期が決定され、初日冒頭より5議員による一般質問が行われた。

続いて町長より、27議案が提出され、人事案件を除き常任

最終日本会議

最終日の29日に全議案を可決した。また、「県央地域に救命救急センターを設置し、当地域の医療提供体制の抜本的改善を求める意見書」が可決された。

一般会計補正予算

アスベスト対策に5千600万円

災害復旧費に1千500万円

議案提出の主なもの

議第4号

専決処分平成17年度一般会計補正予算(借換による不要額)

議第5号

専決処分平成17年度下水道事業特別会計補正予算

議第6号

専決処分平成17年度一般会計補正予算(選挙費用)

議第7号

専決処分平成17年度一般会計補正予算(災害復旧費)

議第8号

専決処分平成17年度一般会計補正予算(アスベスト関連)

議第11号

平成17年度一般会計補正予算

議第12号

下水道事業特別会計補正予算

議第13号

集落排水事業特別会計補正予算

議第14号

老人保健特別会計補正予算

議第15号

介護保険特別会計補正予算

議第16号、23号

平成16年度各会計決算

本会議における平成16年度決算賛否討論

平成16年度一般会計歳入歳出決算認定について賛成・

反対の討論がありました。

反対

市町村合併から単独で行くことを決めた財政再建元年であったが、配食サービスの値上げや敬老会の中止など福祉予算のカットもある。

また、決算にあたり執行された予算に対する評価もされず住民に対してふまじめである。

よって平成16年度一般会計

算に反対する。

賛成

税収の落ち込みの中、財政を組む大変な年であった。断腸の思いで組んだ予算を的確に執行している。

賛成

財政再建元年にあたり削減された予算に対する評価反省がなされていない点は残念だが、執行の努力も感じられる予算執行であったので賛成する。





高橋秀昌 議員



池井 豊 議員

一 般 質 問

羽生田川の水害対策について

問 6月に新潟県はまたも豪雨にみまわれました。8月10日、田上町でも集中豪雨にみまわれ、多くの被害ができました。アメリカ合衆国では大型ハリケーン「カトリーナ」が大きな被害をもたらし、人命を奪い、財産を奪い、生活を破壊致しました。

沢下吉田地区も加え、大正川へ流入する小河川を含め大正川を信濃川水系の一河川として河川法にもとづく河川管理を求める請願書」が提出されるにいたりました。町長の災害対策に関する基本姿勢を改めて聞きたいと思えます。災害対策を考える専門の検討チームを作るなどしていくつもりはないか？



8月10日 羽生田川の状況

高年齢等」と言われるひとたちが避難所に行っても生活できない、または、他人に迷惑をかけるからと避難所には行かずに生活しなければならなかった現実があります。田上町の地域防災計画では具体的な対応は記されていないがどう対処するのか？ また、避難所運営においては地域外(町外)の避難者の受け入れについてどのように対処していくのか？

住民の生命と財産を守る事が第一の政治は何をしてきたのでしょうか。この度、羽生田地区から「羽生田川の洪水を防止する緊急な施策の実施を求める請願書」ならびに、川船河・清水

町長 水害対策を施策の最重要課題にしてみました。今後最も効果的な方法で、まず県に要望しなければ解決しないと思っています。地元と町が一体となつて検討、対応する時期がもう来ていると思っています。災害対策の検討チームは、土地改良区や学識を有した方を入れて早めに対応していきたいと考えています。

問 中越地震に関する色々なことの検証がはじまりました。そのなかで、災害弱者(障害者・

町長 防災計画では自治会あるいは住民の協力的体制について検討しておくとしている。その対応策としては、自主防災組織を各区に組織できるように検討していきたいと考えています。ハザードマップを検討していきたくて考えています。地域外の避難者は、一時避難所として受け入れ、長期にわたるものは自治体の要請により受け入れられます。

田上町立保育所は不要なのか

できれば、子育て支援センターの設置や0歳児保育への対応が可能になってくると期待しています。

問 幼稚園と保育所を一体化した施設では、収入に応じて保育料金を払う保育所から3歳児以降は一律料金になり、保護者の負担増になるのではないですか？

町長 幼稚園授業料は、1万5千円で、保育料も平均で1万5千円です。

問 幼稚園と保育所の一体の施設では、保育所でなくなるのですから、国の交付税が減らされるのではないですか？

町長 保育所と幼稚園を一体化したときの国からの支援は詳



竹の友幼稚園児

問 町は、保育に欠ける子供を保育する義務をもつことがそもそも保育行政です。

今では、行政の義務から契約となつていますが実態としては以前と同じように、保育に欠ける子を保育しています。保育行政は、児童福祉の最も大きな部分であります。こ

には採算という概念を排除することが行政の命としてこれまで行ってきました。これを変えて、採算的発想を持ち込むべきではありません。

町長 保育所や幼稚園は必ずしも公立でなければならぬと考えていません。

水害対策を早急に

問 山田地区で防災対策の計画の無い地域がたびたび水害が発生しています。もっと水害対策を急ぐべきです。

町長 最重要課題と認識しています。年次の計画で取り組むことについて検討します。



石井俊寛 議員



斎藤 勲 議員

一般質問

保育所の統廃合は 見切り発車 すべきでない

問 坂田保育所と保明保育所の統廃合は、ススキ等で行われるなど議会に詳しい説明もなく進められた感があります。

また説明には地元の関係者や広く保護者の意見を尊重すべきです。

パートや臨時職員は被雇用者の人権を十分に尊重する考えはありますか？
今後の幼児教育施設をどのように考えていますか？

町長 ① 6月議会で取り

上げられた保育所の統廃合に関して、ススキからインタビューを受けたので答えました。
② これから地区や保護者の方に説明をし、指摘のように見切り発車はしません。
③ 非正規職員については財政再建のためにはやむを得ないものがありますが、十分配慮して望みます。
④ 幼稚園一ヶ所ということ想定しますと定員260名となり、6億2千万円となり、2ヶ所だと9億円必要となりますので、2〜3年を見守る必要があります。



廃止が検討されている坂田保育所

保育所に 送迎バスを

問 保育所の統廃合が進むにつれて送り迎えが問題になってくると思うが、当町は保育所のバスがない遠足や行事などで児童がタクシーや民間のバスを使い、実費分を保護者が負担している保育所のバスを購入したらどうか。

町長 保育所の統廃合に伴って送迎を町としてやることは決定していますが、その方法については保護者との協議を行います。

また、バスがあると保育所の活動に有効に使えるので、その点を含めて研究したい。

問 保育所では1分でも早く預けたり、遅くなったりすると断固とした姿勢で延長料金を取ると聞いていますが、延長保育料金の考え方を緩和すべきではないか。

町長 10分以内であれば延長保育利用料金の対象としないよう緩和措置をとっている。モラルを守っていただくよう、できるだけ時間厳守をお願いしたい。

アスベスト 問題

問 9月2日、羽生田小学校でアスベストの問題で、保護者に対して説明会がありました

住民参加には ほど遠いアンケート 結果

問 まちづくりアンケート集約結果が僅か10%の回収しかなく、町長の提唱する住民参加と程遠いのでは？
アンケートでは40%以上の回答が、救命救急、福祉対策、生涯学習施設の利便化、職員の資質の向上などがあり、その対策を聞かせて下さい。

町長 ① 全世帯に配付し、町民の主体的な参加の結果であり、概ね把握できたと思っています。
② 各分野に住民生活に密接なものばかりであり、実効性の高いものなど可能な限り後期基

が、工事期間中の安全対策は、

教育長 監督官庁の指導の下で、限られた業者が完全密封して行うので問題ないが、今後も保護者と連携を取って安心感をもてるよう努力していきたい。

問 アスベスト除去工事と問題があるトイレの改修工事を一緒にやったらどうか

教育長 工事の性格上一緒にやるのは不可能だが、今後の課題としたい。

実社会に 役立つ教育を

問 田上の小中学校も1週間単位で職場体験できるような教育や、ボランティア活動に取

本計画に盛り込む考えです。

ハザードマップ、 山田川改修の進捗は？

説明して下さい。

問 ハザードマップの作成状況は？
山田川改修工事が遅れているようすが進捗状況を

町長 ① 指摘のように一刻も早い作成が急がれますが、信濃川や加茂川、町管理の中小河川の調査が必要です。また自主防災組織の育成も含めて早く作成を進めたいと考えています。
② 水質調査の結果、改修する土地が軟弱地盤ということが分かり、地盤強化作業をしています。国・県にお願いをしていますが、1年近く延びる可能性があります。

り組んでは、

教育長 中学校ではボランティア委員会をつくらせて活動している。職場体験学習は前後指導を含めて年間32時間行っている。

問 加茂市の文化的施設を小中学生が観劇や音楽鑑賞で利用できる環境を作れないか。

教育長 アイディアはいいと思うが、児童生徒の移動時間や相手「加茂市」があるので検討したい。

問 小学校で英語教育を取り入れては、

教育長 英語教育はできるところから実施している。これからもよい方法を考えていきたい。



一般質問



小野澤健吉 議員

自主路線の構築のもとでスタートを

問 春の職員の退職により課長職のいくつかが兼務となり、収入役も空白である。不都合の有無は別にしても、所掌事務の統廃合や機構改革を図り、新年度より自主路線のもとでスタートを切るべきと考えるがどうか。

町長 ご指摘のとおり現在、所掌事務の統合や課の見直しを行っている。12月議会までに方針を決定する予定です。しかし、兼務を全て無くする

ことは難しいし、助役が収入役の業務を遂行しているが、全国的にも町村においては、収入役をおかずに助役が兼任している例が多くなっており、これも時代の流れと思うが、田上町の場合は財政再建の一端ということをお願いしておりますが、兼務で仕事内容がオーバーラップしてあるので、その点を含め目下検討中です。

女性の農業委員の誕生を!

問 農業委員会の定数の見直しについて、町議会も12月議会までに議員定数調査特別委員会のもとで審議され結論を出すことになっている。

よって、農業委員会も定数の見直しが検討されるべきである。また、男女共生の農業や町が女性参画の行政と社会を指向するなら、町議会推薦枠の一人を二人にして、一般農業者の中から女性の農業委員を誕生させることが出来る。女性の感性から農業を見直すことが出来るのではないか。

加茂市にも一人、全国的にも女性の農業委員の活躍が見られる昨今である。

町長 農業委員会の担当地域を12に分けて、農地の権利調整や相談など行っている。

定数が減ることによって、ピスが低下することが心配されるが、検討して頂き、それを踏まえて町も検討して行きたい。

女性の農業委員の件は、上層部の県農業会議、全

国農業会議所でも女性の農業委員の起用を推薦しており、全国的にそのような流れとなっているので、今後議会推薦枠を女性農業委員として推薦頂ければ素晴らしいことだと思います。議会推薦枠二名についても定数同様今後農業委員会の意見を参考にして検討して参りたいと考えています。



請 願

請願番号	件 名	請願者の住所・氏名	結 果
第11号	羽生田川の洪水を防止する 緊急な施策の実現を求め る請願	田上町大字羽生田丙547 羽生田一区長 樋口 信司 田上町大字羽生田丙532-4 羽生田二区長 高取 俊雄 田上町大字羽生田乙509 羽生田三区長 坪谷 文四 田上町大字吉田新田丁416-2 羽生田四区長 知野 政雄 田上町大字羽生田乙172-5 下吉田一区長 長沢 雄二	採 択
第12号	大正川へ流入する小河川 を含め大正川を信濃川水 系の一河川として河川法に もとづく河川管理を求め る請願	田上町大字羽生田丙547 羽生田総区長 樋口 信司 田上町大字吉田新田乙502-1 清水沢一区長 坪谷 勝 田上町大字川船河685 川船河総区長 井上 幸穂 田上町大字羽生田乙172-5 下吉田一区長 長沢 雄二	採 択
第13号	町道編入に関する請願	田上町大字田上丙 1447-1 山田区長 本間 勝家	採 択

議員発議による意見書提出

意見案番号	件 名	議決結果	意見書提出先
第9号	県央地域に救命救急センターを設置し、 当地域の医療提供体制の抜本的改善 を求める意見書	原案可決	新潟県知事 新潟県病院局

16年度の財政健全化対策で

188万2千円の値上げ
1億270万7千円の節約

決算審査を終える

平成16年度

決算審査特別委員会を設置

委員長に丸山正樹議員、

副委員長に泉田政夫議員、

石井俊寛議員を選出した。

委員会は全員で構成し審

議日程は3日間で8議案を

審査した。

付託議案は16年度決算、

一般会計

下水道事業特別会計

集落排水事業会計

国民健康保険特別会計

老人保健特別会計

訪問看護特別会計

介護保険特別会計

水道事業会計

いずれも認定すべきと決

定した。

平成16年度当初予算計上の財政健全化 単位:千円

値上げ額		
科目	金額	
1 使用料・手数料	679	
2 負担金	228	
3 諸収入	975	
合計(A)	1,882	

節約額		
科目	金額	
1 報酬	3,763	
2 給料	24,891	
3 賃金	7,372	
4 報酬費	4,561	
5 旅費	3,730	
6 交際費	1,798	
7 需用費	4,023	
8 役務費	308	
9 委託料	9,135	
10 使用料及び賃借料	129	
11 負担金補助及び交付金	15,269	
12 扶助費	5,728	
13 枠配分による金額	22,000	
合計(B)	102,707	

見直し効果の総額(A)+(B) 1億458万9千円



泉田副委員長 丸山委員長 石井副委員長

審査に当たって、財政の運営が効率的に、約束とおりの予算執行であったか、予算の執行が適期で町民本位にされているかを各委員から真剣に、かつ慎重に審査を頂きました。

今、国・地方は財政危機であり、地方分権、少子高齢化、情報化などへの対応が緊急の課題であります。

当町は財政改革を行って来ましたが、平成16年度決算は地方交付税の削減や町税減収等で税収が落ち込む一方、義務的経費が膨らみ財政が硬直化して

いること、また、過去の借入金の返済が財政を圧迫していることから大幅な財源の不足が生じ、平成16年度は危機的な状況から財政健全化を進め人件費や負担金補助金等の見直しを行うことで1億458万9千円を補った。

財政改革とは単に収支の帳尻を合わせる事ではなく、これまでの常識や慣習を良い意味で打ち破り、真に必要な施策を大胆な発想で財源分配をおこなうとともに地域の活性化や雇用の創出を図り財政を確保する事と言われています。

今後さらに地方交付税の削減や町税減収で歳入が厳しくなると予想される。

田上町の「自立した町づくり」が、企業、町民、行政が三位一体となり町民一人ひとりが参加し「自立した町づくり」に期待して報告いたします。

委員長 丸山 正樹

町長への総括質疑

Q 16年度は財政再建の初年度である。16年度決算に成果資料がなかった事は大きな欠陥だと思ふ。総括に検討を加えて平成18年度に生かしてほしい。その結果について資料文書を配布して頂きたい。

A 指摘のように執行が財政再建プロジェクトを立てながら総括が出来なかつた事は反省している。16年度の執行をこれから細かく検討し、平成18年度に生かして行きたいと思つている。

Q 平成16年度の広域入所委託料は2千959万8千円である。田上町の保育幼児は田上町の保育所に入所をお願いし、広域入所委託料金を老朽保育所等の建設資金に対応してはどうか。町は町の教育方針がある。広域入所によつてその町の教育方針が浸透しないのではないかと



A 広域入所は個人の要望である。広域入所の主な理由は核家族化が進み通勤等により止むを得ない。

町内で保育を行い、小学校教育、中学校と進む事が最もだと思ふ。入所は選択の自由で止むを得ないと思つている。

Q これからの農業は減反だけに頼らず、農家収入をいかに

転換し、拡大し確保していくかの視点を強める時期に来ている事を強く真剣に求めたいと思ふ。

A 今後は農業の転換は団地化だと思ふ。減反については18年までは産地交付金が確保されていますが19年以降は国の方針はまとまていない。

Q 加茂川水系期成同盟会の平成16年度総会は3月29日で、年度が終わる1、2日前に総会を開催し、活動方針を協議している。総会の席に早期開催を求めましたが今日まで来ていない事に町長の考えは。

A 平成17年度の総会は早くやらなければと思つている。

Q 清水沢から本田上、



田上駅前には通勤通学者の通る歩道は殆ど除雪されていない。除雪体系に組み入れては如何と思ふか。

A 車道の除雪が優先で終了後、歩道の除雪になる。

清水沢と田上駅前には歩道除雪車入れない箇所が人力に頼る。早期、通勤前の除雪は無理ですが県には要請していきたい。

平成16年度田上町一般会計の歳入・歳出決算額

歳入

(単位:千円)

科 目	決 算 額	前年度決算との比較	町民一人あたり(円)
町 税	1,044,168	9,915	76,490
地方譲与税	122,233	29,469	8,954
利子割交付金	10,668	560	781
配当割交付金	1,538	1,538	113
株式等譲渡割交付金	1,441	1,441	106
地方消費税交付金	111,372	10,296	8,159
ゴルフ場利用税交付金	28,068	985	2,056
自動車取得税交付金	41,713	2,883	3,056
地方特例交付金	33,753	2,073	2,473
地方交付税	1,736,834	53,821	127,231
交通安全対策特別交付金	2,493	135	183
分担金及び負担金	114,926	6,437	8,419
使用料及び手数料	122,485	4,885	8,973
国庫支出金	136,127	35,199	9,972
県支出金	181,237	67,807	13,276
財産収入	29,408	18,217	2,154
寄付金	194	962	14
繰入金	426,618	135,184	31,252
繰越金	98,009	24,053	7,180
諸収入	234,266	16,590	17,161
町債	500,900	23,200	36,693
歳入合計	4,978,451	33,376	364,695

歳出

(単位:千円)

科 目	決 算 額	前年度決算との比較	町民一人あたり(円)
議 会 費	98,681	4,979	7,229
総 務 費	747,473	229,242	54,756
民 生 費	979,745	2,818	71,771
衛 生 費	305,376	34,032	22,370
労 働 費	11,557	675	847
農 林 水 産 業 費	302,791	48,292	22,181
商 工 費	358,994	32,548	26,298
土 木 費	484,440	112,672	35,488
消 防 費	216,336	21,066	15,848
教 育 費	360,504	64,931	26,409
公 債 費	941,410	103,894	68,963
災 害 復 旧 費	43,125	43,125	3,159
歳出合計	4,850,432	103,366	355,317

歳入歳出差引額 1億2千801万9千円

田上町人口 平成17年3月31日現在 13 651人

平成16年度田上町特別会計の歳入・歳出決算額

(単位:千円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引 額
下 水 道 事 業	471,275	460,951	10,324
集 落 排 水 事 業	77,631	73,756	3,875
国 民 健 康 保 険	1,034,243	1,003,965	30,278
老 人 保 健	1,243,973	1,206,971	37,002
訪 問 看 護 事 業	38,368	35,692	2,676
介 護 保 険	661,789	625,859	35,930

水道事業会計

(単位:千円)

収 益 的 収 入	271,061	収 益 的 支 出	240,065
資 本 的 収 入	24,035	資 本 的 支 出	78,571

常任委員会付託案件審査報告

いずれも原案可決

総務産経常任委員会

専決処分(4件)

・一般会計補正(第2号)

歳入

下水道事業特別会計の高資本費対策債が低利に借換が認められ、年利負担の軽減により、基金からの繰入金を減額補正するもの。

・一般会計補正(第3号)

衆議院選挙が実施され、歳

入では委託金の受け入れ、歳出では選挙費用分。

・一般会計補正(第4号)

歳入

8月10日、15日の集中豪雨で被害が発生し、町単費を追加するもの。

・一般会計補正(第5号)

歳入

学校施設にアスベストが使用されており、調査及び仮設工事をするため、町単費を追加するもの。

・一般会計補正(第6号)

歳入

護摩堂ふれあい広場に直売施設建設の県からの補助金。

歳出

歳出の主なものは、直売施設の支援事業補助とふれあい広場進入道路移設工事費。

教育厚生常任委員会

専決処分

・一般会計補正(第5号)

歳出

老人福祉センター機械室の

アスベストサンプル検査、空気中の濃度検査費。

田上小学校の職員、生徒玄関が使用できず、入口変更の

為の錠、足拭きマット購入費。

羽生田小学校の廊下が使用

出来ず、仮設廊下、ひさし、マット、仮設トイレ25基4カ月間の借上げ料。

町民体育館の玄関ホール

ギヤリーのサンプル検査、環境検査費。

・一般会計補正(第6号)

羽生田小学校、田上小学校、町民体育館、老人福祉センターのアスベスト除去工事費等。

老人保健特別会計補正

16年度医療費負担補助の補正

介護保険特別会計補正

改正により、今まで町負担のものが入所負担となり、減額補正するもの。

建設企業常任委員会

専決処分(3件)

・一般会計補正(第2号)

下水道事業債、繰入金減額。

・下水道事業特別会計補正(第2号)

下水道対策債借換3千859

万円。利率7%から1%に。

・一般会計補正(第4号)

災害復旧工事費等697万円。

補正予算

・一般会計補正(第6号)

土木費除雪対策費で除雪

機械一台借上げ約180万円。

県河川事業負担金140万円。

・下水道事業特別会計補正

16年度消費税不足分104万

円。

・集落排水事業特別会計補正

16年度消費税不足分90万

円。(なお、16年度より消費

税1千万円以上申告義務が

生じた)

請願では、大正川系の一級河川

認定という問題が提起された。



建設企業常任委員会

常任委員会の動き

所管事務調査

総務産経

期 日 7月19日

17年度事業と町総合計画の後期計画の取組みについて調査した。

総務課

・防犯灯の住民負担、防災対策等について

企画商工課

・各施設の利用状況、総合計画の後期計画について

農林課

・各種支援措置について
・農業構造改革対策のうち、転作率について

委員長 小池真一郎

建設企業

期 日 7月8日

地域整備課・上下水道課



大谷ダム視察

・床上浸水対策事業
才歩川工事箇所を県の担当者より説明を受けた。
(才歩川の軟弱地盤対策等)

期 日 7月27日

・三条地域水道用水供給企業団(浄水場・大谷ダム取水口)企業団職員、県担当より説明を受け、現場視察。
・町内浄水場、終末処理場を管理者の説明を受けた。

委員長 小柳 徳榮

教育厚生

期 日 8月2日

現在問題化しているもの、改正や変更のあるものについて、説明を受けた。

住民課

・坂田、保明保育所統廃合問題

統合先は坂田保育所、入

所定員数が多い事が理由。保

明保育所対象地域の児童の

送迎は検討する。これから住

民説明会を行うとのこと。坂

建設企業

期 日 7月8日

地域整備課・上下水道課



大谷ダム視察

・床上浸水対策事業
才歩川工事箇所を県の担当者より説明を受けた。
(才歩川の軟弱地盤対策等)

期 日 7月27日

・三条地域水道用水供給企業団(浄水場・大谷ダム取水口)企業団職員、県担当より説明を受け、現場視察。
・町内浄水場、終末処理場を管理者の説明を受けた。

委員長 小柳 徳榮

教育厚生

期 日 8月2日

現在問題化しているもの、改正や変更のあるものについて、説明を受けた。

住民課

・坂田、保明保育所統廃合問題

統合先は坂田保育所、入

所定員数が多い事が理由。保

明保育所対象地域の児童の

送迎は検討する。これから住

民説明会を行うとのこと。坂

建設企業

期 日 7月8日

地域整備課・上下水道課



大谷ダム視察

・床上浸水対策事業
才歩川工事箇所を県の担当者より説明を受けた。
(才歩川の軟弱地盤対策等)

期 日 7月27日

・三条地域水道用水供給企業団(浄水場・大谷ダム取水口)企業団職員、県担当より説明を受け、現場視察。
・町内浄水場、終末処理場を管理者の説明を受けた。

委員長 小柳 徳榮

教育厚生

期 日 8月2日

現在問題化しているもの、改正や変更のあるものについて、説明を受けた。

住民課

・坂田、保明保育所統廃合問題

統合先は坂田保育所、入

所定員数が多い事が理由。保

明保育所対象地域の児童の

送迎は検討する。これから住

民説明会を行うとのこと。坂

建設企業

期 日 7月8日

地域整備課・上下水道課



大谷ダム視察

・床上浸水対策事業
才歩川工事箇所を県の担当者より説明を受けた。
(才歩川の軟弱地盤対策等)

期 日 7月27日

・三条地域水道用水供給企業団(浄水場・大谷ダム取水口)企業団職員、県担当より説明を受け、現場視察。
・町内浄水場、終末処理場を管理者の説明を受けた。

委員長 小柳 徳榮

教育厚生

期 日 8月2日

現在問題化しているもの、改正や変更のあるものについて、説明を受けた。

住民課

・坂田、保明保育所統廃合問題

統合先は坂田保育所、入

所定員数が多い事が理由。保

明保育所対象地域の児童の

送迎は検討する。これから住

民説明会を行うとのこと。坂

建設企業

期 日 7月8日

地域整備課・上下水道課



大谷ダム視察

・床上浸水対策事業
才歩川工事箇所を県の担当者より説明を受けた。
(才歩川の軟弱地盤対策等)

期 日 7月27日

・三条地域水道用水供給企業団(浄水場・大谷ダム取水口)企業団職員、県担当より説明を受け、現場視察。
・町内浄水場、終末処理場を管理者の説明を受けた。

委員長 小柳 徳榮



田上小学校におけるアスベスト箇所の調査

・幼稚園、小学校、中学校にお

教育委員会

優遇措置が取られる。

なつた。低所得者に対しては

を入居者が負担することと

していたものを、食費、住居費

説明があり、今まで町が負担

・介護保険制度改正についての

保健福祉課

つた。修繕をしながらとの答弁。

で続けて行くのかと質疑があ

で老朽化しているが、そのまま

田保育所は、昭和39年の設置



大谷ダム視察

ける教育実践上の努力点の
説明がされた。

期 日 9月2日

教育委員会よりアスベスト問題に対する学校等の対応についての説明があった。

8月2日の常任委員会で坂田、

保明両保育所統廃合の問題で坂

田保育所に統合する旨の説明に対

し、保明保育所へ統合する変更の

説明をつけた。定員を増す為の増

築工事が必要とのことであった。

委員長 塚野 一三三

一部事務組合報告

加茂市田上町消防衛生組合

議会報告

平成17年7月11日

提案された議案は
議長選挙について
専決処分の承認につ
いて

同じく専決で合
併によって市町村の数
の変更によるもの
監査委員の選任につ
いて

議長には加茂市の
安中弘議員、監査委員
には田上町の泉田政夫
議員が選任された。

行政視察

8月29、30日、栃木
県黒磯那須消防組合
本部を研修。

ブリヂストン栃木工場火災の
防災活動及び平成10年に起き
た那須の大水害の復興、復旧状
況について説明をうける。

組合議員 吉田 昭一
泉田 政夫
丸山 正樹
斎藤 勲

三条地域水道用水供給企業団

期日 平成17年8月12日
場所 三条企業団事務所
議事 議事人事の改選期により、議

長は三条市の阿部銀次郎議員に、
副議長は加茂市の佐野正三良
議員に、監査委員は田上町の泉
田寿一議員が選任された。

専決処分2件は承認された。
三条市、栄町、下田村の合併
に伴う関係条例の整理と、公営
企業債により今後15年間で1
億6千万程度の返済軽減が計
れるもの。

認定第1号決算の認定では
全会一致で認定と決した。

組合議員 泉田 寿一
関根 一義

三条・燕・西蒲・南蒲広域
養護老人ホーム施設組合

議長に下村喜作議員
監査委員に小野澤健吉議員

組合議会は去る8月10日豪
雨の中で欠席者が多く、ようや
くにして議会が成立をする状
況であった。

町村合併に伴い欠員となつて
いた議長に田辺副議長の推薦に
より、三条市の下村喜作議員が
当選した。また、町議会の議会
構成の変更により、辞職欠員と
なつていた監査委員に田上町の
小野澤議員を選任することで
全会一致で同意した。

専決処分3件はいずれも市
町村合併による地方公共団体
の数の減少及び規約の変更に
よるもので、報告どおり承認さ
れた。

組合議員 小野澤健吉



黒磯那須消防組合本部の研修



町民の声



「子どもたちに 優しい町を」



清水沢第二区
伊藤 卓治

田上町に住んで13年目になります。この間に子ども生まれ、親となりました。

何よりも有り難かったのは、子どもの保育所への入所でした。やむを得ず1歳の誕生日直後から保育所にお世話になりましたが、先生方には本当に良くしていただきました。

その後も町立の幼稚園、学童保育にお世話になりましたが、共働きの我が家にとっては本当に助かりました。学童保育に関しては、長期休業中へもサービスが拡大されたとのこと嬉しく思います。

これからも、子供たちに優しい町、そして、子育て世代に優しい町であることを願っています。

「保育所の 統合について」

四ツ合
藤田キヨミ

保明保育所、坂田保育

所の統合については、個人的には嬉しいです。

それと言つのも、保明保育所の子どもたちは、男女合わせても20人と、とても少ない上に、女の子の数が2、3、4、5歳に各1人づつ計4人ととても少ないのが現状です。

クラスによっては、男の子も少ないところもありますが、同じ年のいない女の子には、友達を作りたくても作れないのです。

坂田保育所との統合によって実現して欲しいのです。



気軽に議会の傍聴を

本会議場には40からの傍聴席があり、自由に傍聴できるのが原則です。

委員会は委員長の許可制ですが、公開が原則ですので、気軽においで下さい。

次の定例会初日は12月16日が予定されています。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

16年度の決算議会もようやく終わり、改めて町民負担と執行側の苦勞が身にしみた。

米沢藩主上杉鷹山は、財政破綻の危機に際して大検約令を打ち出した。自らを律し、産業を起こし、領民の生活には心を砕いた。

今の時代にはそぐわない面もあるがこの精神は大事ではないか。「長の一念」というがその姿勢に領民はついていったのではないか。

花が開いてか果実となり、草木は雨が降って栄えるように、田上町も自立した町として栄えて欲しい。

(石井記)

- 委員長 丸山 正樹
- 副委員長 石井 俊寛
- 委員 小柳 徳榮
- 委員 塚野 一三三
- 委員 小池真一郎
- 委員 池井 豊